

# 宗教的配慮を含む訪日外国人旅行者受入環境の検証と仮想空間を活用した情報発信事業

訪日外国人旅行者の受入環境整備の充実に向けた外国人目線による評価を行うことで受入環境整備の充実を図るとともに、仮想空間（メタバース）を活用した認知度向上を図ることで今後の情報発信方策及び観光案内方策を検討した。

- 【事業連携組織】
- ・ 杉原千畝ルート推進協議会（杉原千畝ルート）
  - ・ 飛騨地域観光協議会（飛騨地域）
  - ・ 福井県・嶺南地域自治体（小浜線沿線地域）

## 訪日外国人旅行者の受入環境整備

外国人モニター調査を実施し、訪日外国人目線で、快適に日本の旅をする上で重要な受入環境整備について調査・検証を実施。

- 【対象地域】 杉原千畝ルート、飛騨地域、小浜線沿線地域  
 【外国人モニター】 米国、イスラエル、インドネシア、スペイン、カナダ、イタリア  
 10～11月にかけて、各対象地域に4名ずつにより実施



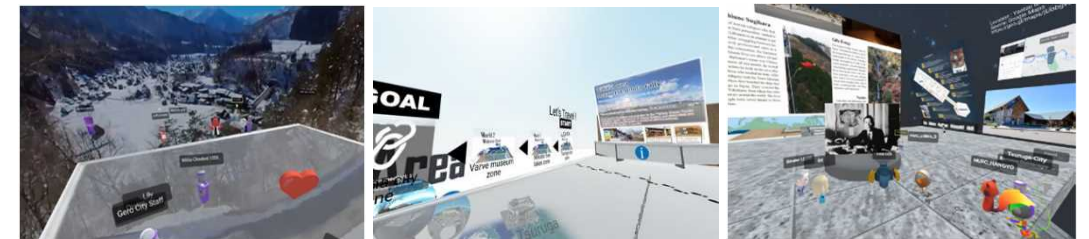
- 経路案内
  - ・ スマホでの情報提供環境の整備
  - ・ 現地における案内表記のユニバーサルデザイン化（ピクトグラム、カラー、ナンバーの使用等）
- 魅力情報
  - ・ 言語対応できるガイドによる魅力情報発信
  - ・ 地域ならではの食、土産物等の商品のWEBでの提示、ECサイト等への誘導
  - ・ 旅マエの情報として、動画、メタバース等の活用による訪問機運向上
- 飲食に関する情報
  - ・ 宗教・信条、食制限に対応できる飲食施設の情報提供
  - ・ SNSを活用したクチコミ活用によるリピーター確保
- 決済
  - ・ 交通関係事業者の連携によるフリーパス導入、交通系ICカードの利用促進
- 快適性
  - ・ WiFi、手荷物預け機能等の「観光案内所」の有効活用による、周遊促進、滞在時間の拡充

受入環境整備の更なる充実

## 仮想空間上での効果的な情報発信

メタバースを活用した情報発信を行い、空間イベント内で参加者の意見を聴取するなど、仮想空間における効果的な情報発信のあり方を検証。

- 【対象地域】 飛騨地域、若狭地域、杉原千畝ルート  
 【仮想空間設置】 開設：2022年12月～2023年2月、空間イベント：2023年2月



- 地元発信の素材の活用
  - ・ 地域の魅力を最大限に発信していくため、メタバースで使用する地域ならではの映像収集（最も魅力的な時期・時間帯の撮影）
- 地域の消費拡大への誘導
  - ・ 訪問意欲を惹起する試食動画、音、店舗のスタッフとのコミュニケーションをメタバースで伝達
  - ・ メタバースからECサイトへの直接のリンクにより即時購買へ誘導
- 地域人材の有効活用
  - ・ メタバース内に“仮想の観光案内所（カウンター）”を設け、リアル観光案内所と繋げたオンライン上での観光案内の仕組みを構築
  - ・ 全国通訳案内士、地域通訳案内士の活躍の場としてメタバースを活用（メタバースイベント、リアル案内の前の情報収集、オンラインMTGの場の代替）
- 地域印象づけるアバターの設定
  - ・ 地域性を印象づけるアバターの活用による、楽しみ、来訪機運の創出
  - ・ 自動応答AIとも連動したアバター（デジタルヒューマン）の導入による随時出来る体制の構築

適宜、仮想空間上で反映

新たな情報発信及び観光案内方策の構築